

ブルー・スターR&D

超音波でバリ取り・研磨

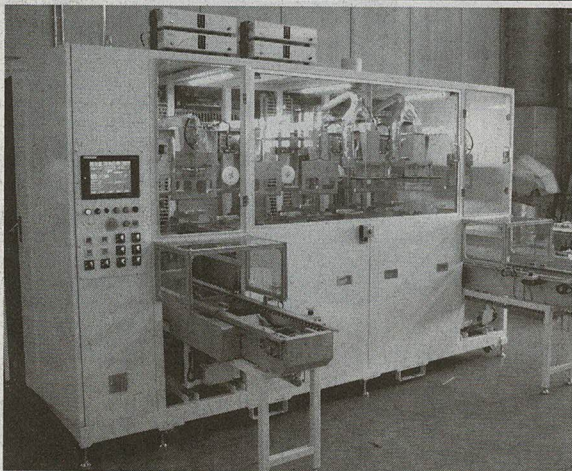
水のみ使用、加工15分

洗浄装置 リテーナー向け訴求

【相模原】ブルー・スターR&D（相模原市中央区、柴野美雪社長、042・711・7721）は、研磨ができる超音波バリ取り洗浄装置「VEGA-DB-MR-14-2400」を開発した。4月から納入を開始する。消費税抜きの価格は2850万円。ミニチュアヘアリングのリテーナー（保持器）を手がける企業向けに訴求し、初年度はアジア、米国など海外を中心に年間10台の販売を目指す。

ブルー・スターR&Dが新開発した「超音波バリ取り研磨洗浄装置」は、超音波バリ取り洗浄装置に対角200mm×長さ300mmの「六角回転かご」を取り付けたもの。回転の超音波が振動し「キ

ャビティ」と呼ばれる微細な泡が発生、弾けることでリテーナーの表面を研磨する。研磨装置では2倍の24



研磨ができる超音波バリ取り装置を開発

00mmに高めた。使用するのは水のみで、研磨材は投入しない。装置は長さ2975mm×奥行き1650mm×高さ22050mmだ。

現状、リテーナーの研磨は「パレル研磨」が主流。リテーナーのほか水、洗剤、研石を投入し、約1時間回転させ、バリ取りや研磨を行う。同方法では、石と製品を選別する手間や廃水処理などの課題があった。柴野佳英会長は「作業時間の削減や重労働からの解放だけでなく、環境負荷も軽減できる」と期待する。

今後はプレス部品などリテーナー以外のさまざまな小型精密加工部品への応用を目指す。